

# socio勝央評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標・工夫
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	<input type="radio"/>				廃校を利用しているので、運動場や体育館など設備は充実している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>				1日に概ね5人～7人の職員を配置している。
	③	事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>				昨年度の評価を受けて、入り口にスロープを設置した。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につながっているか	<input type="radio"/>				結果について職員間で協議するとともにホームページに結果を公表している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>				ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につながっているか			<input type="radio"/>		行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>				外部研修への参加、内部研修の実施など、積極的に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>				利用開始前には必ずアセスメントを行い、必要に応じて関係機関からも情報収集をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>				アセスメントツールは統一されている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>				全ての職員が立案に加わっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<input type="radio"/>				様々なプログラムを取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>				利用児にもわかるよう時間毎の活動内容を設定し、実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>				それぞれの課題に即して集団、個別の活動を行っている
	⑮	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>				毎日申し送りを行い、送迎、学習、個別、運動、レクなど担当者を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>				パート職員は残れないが正職員がその日の振り返りをし、次の日の申し送りでパート職員も含め確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>				その日に起こったことは記録し、次の日の申し送りで情報共有し対応について協議、している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				半年ごとに保護者及び職員間でモニタリングを行い、目標の到達度に合わせて見直しの必要性を判断している。

	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○				個別、集団それぞれにおいて多様なプログラムを実施している。
適切な支援の提供	②0	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、出来ない場合は正職員が参加している。
	②1	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				学校とは送迎時間の確認以外にも支援方法等についても必要に応じて協議が出来ている。
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			主治医と直接のやりとりは難しい。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				就学時において、必要に応じて保育園や利用療育機関とのカンファレンスを行っている。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				作業所での様子を見学に行ったり、引き継ぎの担当者会議を実施している。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				センター利用の児童のcomツールについて、言語療法士に指導を仰いでいる。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				隣接の放課後児童クラブと合同で避難訓練や不審者対応訓練を行っている、
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				協議会の会合、活動には毎回、積極的に参加し役割も担っている。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時にその日の様子等伝達したり、必要に応じて連絡ノートやSNSを用いて取り合っている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○				自支協の主催するペアトレにファシリテーターとして参画している。
保護者への説明責任等	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時においては重要事項説明書等で説明をしている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				より、専門的な見地から助言や支援が行えるよう努力している。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				大人のsocioや、家族交流会など保護者同士が交わる場を設定している。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情解決マニュアルを整備し、第三者委員も選任している。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、体制連絡等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				ホームページで活動内容を報告しているがさらに発信していきたい。
	③5	個人情報に十分に注意しているか	○				マニュアルを整備し、細心の注意をしている。保護者にも同意書で確認している。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				それぞれの発達段階や能力に合ったコミュニケーションができるようスキルを高めていきたい。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				ボランティア講師が定期的に着て下さっている。美作大学との共催で映画鑑賞会を実施した。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知されているか		○			保護者への周知がされていない。周知方法について検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				年2回の防災訓練、不審者対応訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				マニュアルを整備し職員教育を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービスに記載しているか	○				車いすの安全ベルトについて必要性を保護者と確認し支援計画書に掲げて同意を得たうえで使用している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			保護者からの情報提供により実施しているが、医師からの指示書は直接受け取っていない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				事故及びヒヤリハット報告書を整備し、何かあれば記入して対策について検討している。